

科目名		授業形態	担当教員名	
生理学演習		演習・講義	沖田 章子・田中 靖人・岡田 誠暁	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間 （ 1 単位）		15 回	1 年次	後期
授業の目的・概要				
前期の生理学Ⅰで学んだ「皮膚感覚」「循環機能」「平衡機能」について、演習を通じて理解を深める。 各テーマ毎に班に分かれ、実験を行った後、実験結果をレポートにまとめ、考察を加える。				
授業の到達目標				
1. 各実習の手順を理解し、できるだけ正確なデータが取れるよう配慮する点について説明できる。 2. レポートは指定された形式を守り、表現は簡潔で、他者が読んで分かりやすい表現をすることができる。 3. 教科書の知識と実習結果を比較し、自身の考察を導くことができる。				
授業計画				
回	内容			
1	岡田担当：講義と重心動揺計の操作練習			
2	岡田担当：平衡機能の実験①			
3	岡田担当：平衡機能の実験②			
4	岡田担当：実験結果の整理とまとめ、講義			
5	レポートのまとめと知識の整理			
6	沖田担当：皮膚感覚の実験内容の理解、実験器具作り			
7	沖田担当：感覚点の測定①			
8	沖田担当：感覚点の測定②			
9	沖田担当：二点弁別閾の測定			
10	沖田担当：実習の考察、グラフ・図・レポートのまとめ			
11	レポートのまとめと知識の整理			
12	田中担当：心拍・血圧の測定練習、循環機能について			
13	田中担当：PWCテスト（全身持久力の測定、心拍数、血圧の反応）			
14	田中担当：実験結果の整理とまとめ、講義			
15	レポートのまとめと知識の整理			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
筆記試験				
レポート・課題	100%	各担当毎に実験結果をレポートにまとめる。 提出期限は厳守すること。		
小テスト				
平常点				
その他				
自由記載	実習中心の授業となりレポート評価のため、再試験は実施しません。			
教科書				
書名		著者・編集者名	出版社名	
標準理学療法学・作業療法学 解剖学		野村巖 編	医学書院	
基礎運動学 第7版		中村隆一 他	医歯薬出版	
標準理学療法学・作業療法学 生理学		岡田隆夫 他	医学書院	
自由記載				
参考文献				
書名		著者・編集者名	出版社名	
特に指定しない				
自由記載				
備考				
レポートの作成は、将来、作業療法士となり、報告書やカルテ記入の業務において、事実や考えを簡潔に述べることに通じるものであるから、その手法を身に付けてもらいたい。				